

ンフルエンザ

先月下旬の今季最強寒波、凄く寒かったですね。愛知も氷点下になったと聞きましたが皆様、風邪などお召しになっていませんか？普段、余り雪の降らない岩手県沿岸でも結構、積りました。幹線道路は大量の融雪剤を撒いているので一応、雪は融けるのですが、幹線道路から1本裏通りに入ると全然融けておらず歩くのも一苦勞、特に私達の入居している災害公営住宅の前は日陰になっていて一日中、日が当たりませんので全く融けません。これはとても困ります。

今季、道路の除雪は何処の建設会社が担当しているか分かりませんが凄く下手で、道路の端まで雪を寄せる事が出来ず、道路を塞ぐ様に雪の塊があり、翌日にはすっかり凍って氷の塊になってしまいます。これが曲者で、対向車を避けようとして氷の塊に接触し、フロントバンパー等を破損してしまう事が多いのです。結構、破損して脱落したフロントバンパーや部品類が道路に落ちていて本当に危ないし、これを避けきれずに踏んでしまい、タイヤがパンク、バーストしたりもします。

運転に自信の無い方は雪の日等は運転しない方が無難だと思うのですが、田舎の事ゆえ車じゃないと買物にも行けません。それで無理に運転して出掛けるのでしょうが、もの凄く遅い走りで渋滞発生、更に事故でも起こせば大渋滞になるし、迂回路が無いので本当に迷惑。因みに私は走るのが困難だとか、私よりも速い車が後方から接近して来たらすぐに道を譲ります。雪路やアイスバーン

で煽られたりしたら危ないし、今、流行？の交通トラブルになるのは嫌なので。

先月上旬、私達から離れて盛岡市の学生寮で生活している娘のヒカリが、「凄く具合が悪い、助けて」と連絡を寄こしたので、急ぎ盛岡に向かい病院に連れて行きました。その日は日曜日だったので、大きな病院の救急センターに行きましたが、日曜日だというのに凄い混みようでした。殆どの方がインフルエンザらしく、発熱している人は廊下の一番奥の一角に隔離されていました。そこで約1時間待ってから、検査をするというので別室に移りました。ヒカリは、鼻の穴に綿棒の様な検査キットを突っ込まれて顔を歪めておりました。結果は風邪という診断、ちょっとホッとしました。薬を処方してもらって学生寮に送って行き、食料も買い込み、「俺は帰るから御飯を食べて、薬を飲んで寝ろ」と言い、大槌に帰りました。

翌早朝、ヒカリから「全然、熱が下がらない、余計に具合が悪くなった」と電話あり！またしても盛岡にぶっ飛んで行き、学生寮の近くのクリニックに連れて行きました。そこで再度インフルエンザの検査、今度はB型インフルエンザと診断されました。薬を処方して頂き、その後、次第に熱は下がり、ホッと一安心しました。

私が大槌に帰る際、今風に言えばツンデレ？の、ヒカリが素直に、ありがとうと言ってくれたのが本当に嬉しかったです。（笑）

岩手県大槌町

小川 孝幸